

宮崎駿監督が久米島へ

「島の風を感じながら」

「風の帰る森」プロジェクトの統括を務める堀野富洋氏の案内で、宮崎駿監督が久米島へ来島しました。夫人の朱美さんや友人らとともに、風の帰る森本館をはじめ史跡などの風光明媚で秋風そよぐ島内各所を見学しました。

最初に訪れた場所は、オーハ島沖の琉球王国時代の貿易船の積み荷が



沈む水中文化遺産。久米島博物館の砂川学芸員のロマンあふれる解説に興味深く聞き入っていました。

その後、宇江城城跡では島の全方位、交易船が往来したであろう東シナ海を見渡しながら「生涯の風景だ」と述べました。また、道中で立ち寄った漁港風景には東南アジア的な雰囲気を感じたようです。

今回の来島目的である、銭田森林公園に整備中の「風の帰る森」本館を視察した際は、そこを走りまわる子どもたちをイメージしているかのように、とても優しい眼差しで公園全体を見てまわりました。

「沖繩を感じられる風は久米島に吹いている！」と話す宮崎監督が感じたこの風を、私たちの帆でしっかりと受け止めながら針路を定め、島の未来をみんなで拓いていきたいと思います。



風の帰る森

定期便り



第31号

今月の担当
風の帰る森事務局
上月有紀

風の帰る森プロジェクト 2018年のここまで

風の帰る森本館施設の起工式から1年が経とうとしています。2018年は運営内容についての検討が進み、宿泊、飲食の運営や、学童クラブ開所に向けての動きがありました。ここで改めて風の帰る森プロジェクトの概要やコンセプトについて紹介したいと思います。

▼風の帰る森について

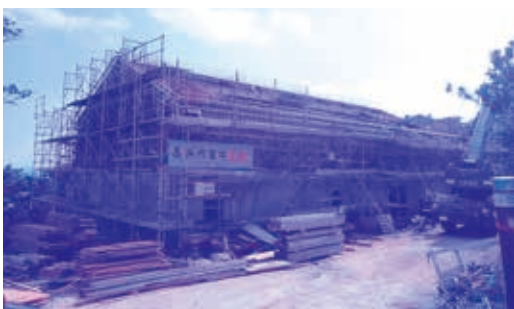
「風の帰る森」は銭田森林公園一帯を計画の中心地としたプロジェクトの総称です。久米島の豊かな野山と海で子どもたちが時間を忘れて遊び、またゆっくりと過ごすことができる場所をつくっていきます。

▼風の帰る森のコンセプト

本館施設は東日本大震災にあった子ども達や、心と体を休める事を必要とする子ども達、また島内外全ての子ども達がゆっくり、のびのびと過ごす事ができる場所です。

▼本館施設について

保養を兼ねた宿泊（一般客も対応）、学童クラブ、図書室、物販飲食店が主な機能です。誰でも利用できる施設として2019年にオープン予定です。引き続き応援よろしく願います。



△本館工事現場の様子



△本館施設完成イメージ図

お問い合わせ プロジェクト推進課 ☎098-985-7141 一般社団法人 久米島風の帰る森 kazemoristaff@gmail.com

風の帰る森はwebサイトにて進捗情報を発信しております！

URL : <http://kazenokaerumori.com>

